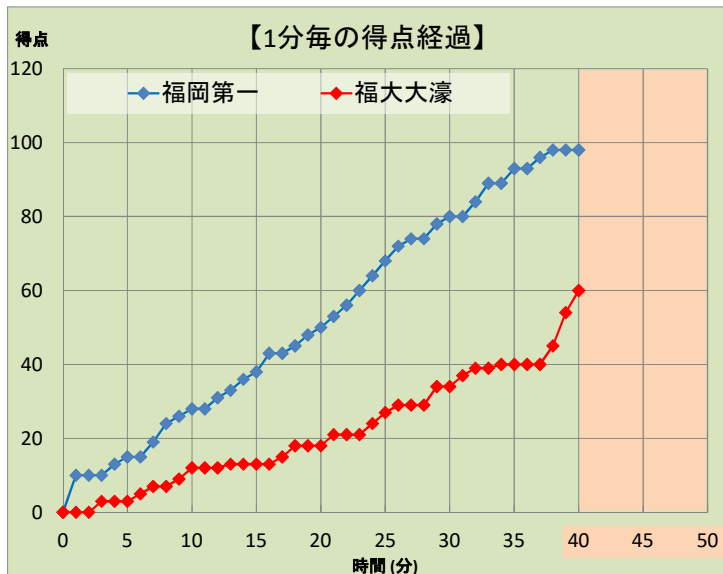


第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月24日 (日) 13:30	
コート	Aコート	第4試合
カテゴリー	男子	決勝
主審	宇地原 尚彦	
第1副審	伊藤 彰二	
第2副審	川島 司	

TEAM A		TEAM B															
福岡第一 98	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>28</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>22</td><td>2nd</td><td>6</td></tr> <tr><td>30</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>26</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	28	1st	12	22	2nd	6	30	3rd	16	18	4th	26	OT			60 福大大濠
28	1st	12															
22	2nd	6															
30	3rd	16															
18	4th	26															
OT																	
福岡1位		福岡2位															
○		●															

【BOXスコア】

TEAM A		福岡第一高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
1	當山 修梧	3	1			1	
8	河村 勇輝	◎ 26	4	6	2		
13	神田 壮一郎	○ 2		1		1	
23	砂川 琉勇	0					
27	松本 宗志	0				1	
31	ハーバージャン ローレンス ジュニア	6		1	4	2	
37	仲田 泰利	1			1		
40	三宅 翔りーディローチ	0				1	
44	内藤 凌太	0					
46	小川 麻斗	○ 19	1	7	2	1	
54	内尾 聡理	○ 13	1	5		2	
59	山田 真史	6	2			1	
60	クベマジョセフ スティープ	○ 12		6		1	
63	井上 僚人	0				1	
65	キエキエトビー アリ	10		5		1	
コーチ	井手口 孝						
合計		98	9	31	9	13	

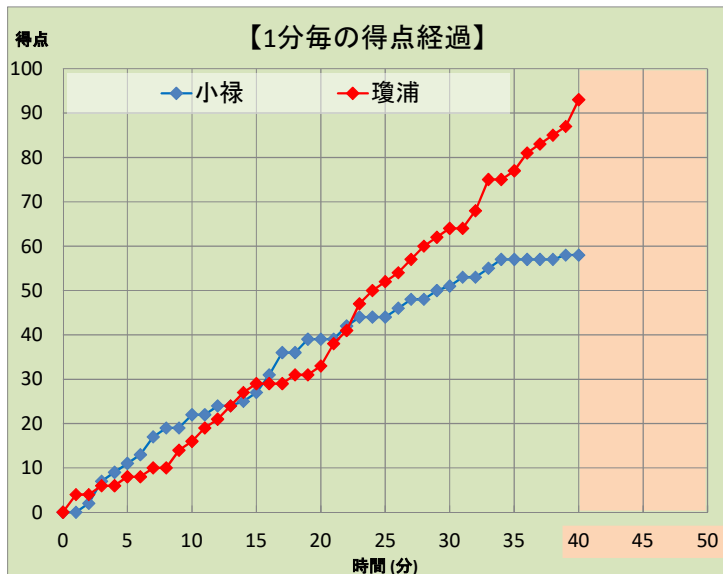
TEAM B		福大大濠高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	西田 公陽	◎ 5		2	1	1	
5	高木 寛大	12	1	3	3	2	
6	田邊 太一	○ 17	2	4	3	3	
7	間山 柁	○ 3		1	1		
8	木林 優	○ 14	3	2	1	1	
9	西田 陽成	0					
10	平松 克樹	4		2		3	
11	杉 渉夢	0				1	
12	山際 爽吾	0					
13	原田 大和	0				2	
14	横地 聖真	○ 5	1	1		1	
15	岩橋 史門	0				1	
16	廣政 遼馬	0					
17	大浦 禅次郎	0					
18	渡辺 康太	0					
コーチ	片峯 聡太						
合計		60	7	15	9	15	

【戦評】

全九州大会決勝戦、福岡県1位福岡第一対福岡県2位福大大濠の対戦、福岡第一のスターティングメンバーは、#8、#13、#46、#54、#60、福大大濠のスターティングメンバーは、#4、#6、#7、#8、#14、で試合開始。第1Q、先制したのは福岡第一。#60のゴール下から始まり、厳しいディフェンスからの速攻と#8の3ポイントで開始間もなく10得点。対する福大大濠は#14が3ポイントを決めるもペイント内へのボール供給が難しく苦しい展開。第1Q終盤、福岡第一が#54の連続得点で波に乗り、12-28とリードして第1Q終了。第2Q、福岡第一はゾーンディフェンス。福大大濠はアウトサイドシュートがなかなか決まらず、逆にリバウンドから福岡第一#8と#46のスピードプレーによってじわじわと点差が広がってしまう展開に。18-50と福岡第一リードで前半終了。第3Q、福大大濠が#6の3ポイントで先制し反撃をこころみるが#8、#46のシュートや#60の高さのあるプレーなど福岡第一の得点ペースは落ちない。その後も福岡第一の攻勢はやまず、第3Qは34-80と福岡第一が大幅リードで終了。第4Q、福大大濠#8がスリーポイントを決め反撃に転じる。相手のミスを見逃さず速攻に持ち込み連続得点をあげてチームに勢いをあたえた。しかし福岡第一も#31や#65のパワーあふれるプレーで応戦。福大大濠が必死に追い上げたものの、60-98で試合終了。福岡第一の勝利となった。福大大濠は序盤から積極的にアウトサイドシュートを狙っていくも、インサイドの守備が厳しく、ペイント内でのプレーやリバウンドにうまくつながらなかった。福岡第一はこれまでの試合と同じく堅守速攻と確率の高いシュートで得点を量産し優勝を勝ち取った。決勝戦にふさわしい、全力を尽くしてプレーした両チームの健闘を称えたい。

【戦評記者】 増永 洋祐
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月24日 (日) 13:30	
コート	Cコート	第4試合
カテゴリー	男子	決勝
主審	徳丸 昂	
第1副審	千原 翔太	
第2副審	山口 健人	

TEAM A			TEAM B		
小禄	58	22 1st 16 17 2nd 17 12 3rd 31 7 4th 29 OT	93	瓊浦	
沖縄3位			長崎3位		
●			○		

【BOXスコア】

TEAM A		小禄高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	仲座 空良	0				1	
5	山本 涉夢	○ 7		3	1	1	
6	大田 浩人	○ 10		4	2	1	
7	備瀬 力斗	◎ 22		10	2		
8	平良 一洋	○ 9	3			1	
9	平敷 陸斗	0					
10	安里 柊	0					
11	金城 孝俊	0					
12	又吉 本丸	○ 8		4		5	
13	當山 幸弥	1			1	1	
14	我喜屋 瑞	0					
15	池宮城 光貴	0				1	
16	花城 怜翼	1			1		
17	上原 滉生	0				1	
18	波平 航	0					
コーチ	源古 隆						
合計		58	3	21	7	12	

TEAM B		瓊浦高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	松村 凱士貴	3		1	1		
5	西野 浩史	○ 14	1	4	3	1	
6	片岡 耕介	○ 0				1	
7	寺崎 廉	2		1		1	
8	前川 浩人	0					
9	宇野 秀太	5	1		2		
10	岩崎 海凜人	○ 2		1		2	
11	松村 生	8		4		1	
12	山田 薫	4		2			
13	寺島 憧	3	1				
14	高比良 舜	0					
15	ンゲンザ アーノルド	○ 24		12		3	
16	江頭 永遠	0				1	
17	喜多 伊総	◎ 22	5	2	3	1	
18	中川 英士	6		1	4	1	
コーチ	植生 浩二						
合計		93	8	28	13	12	

【戦評】

全九州大会Bパート決勝戦、沖縄県3位小禄対長崎県3位瓊浦との対戦。小禄のスターティングメンバーは、#5、#6、#7、#8、#12瓊浦のスターティングメンバーは、#5、#6、#10、#15、#17、で試合開始。第1Q、マンツーマンディフェンスで入る。瓊浦は#15にボールを集めてインサイドでの得点。小禄はドライブからの合わせやファストブレイクで得点をする。リバウンドや3ptsで主導権を握った小禄がリードをして第1Qを終了する。第2Qで#17の3ptsを皮切りに立て続けに3本の3ptsを決める。小禄は1対1での得点で両者一進一退の攻防が続く。第2Q終盤に1対1や3ptsで小禄がリードを広げる。瓊浦がインサイドで得点を決めて第2Qを終える。お互い膠着状態のまま前半が終了。第3Q瓊浦はゾーンディフェンスに切り替える。小禄の得点が止まったところを瓊浦が外角とインサイドでの得点により逆転に成功する。小禄は外からのショットで付いていくが、なかなか瓊浦のゾーンを攻略することができない。一方、瓊浦は外角とインサイドで着実にリードを広げていく。ゾーンディフェンスで流れを掴んだ瓊浦がリードして第3Qを終える。第4Q、小禄はオールコートプレスを仕掛ける。しかし、瓊浦は高さを生かしプレスを突破。速攻とインサイドで確実に得点を重ねていく。追い付きたい小禄はキックアウトから3ptsを試みるがなかなか決めることができない。瓊浦はメンバーを入れ替えながらインサイドとアウトサイドでテンポよく得点を決めて、93-58で試合終了。第3Qのゾーンディフェンスからゲームの流れを掴んだ瓊浦がゲームを制した。

【戦評記者】 棚町 俊樹
福岡県バスケットボール協会